



カンボジアとクメール・ルージュの歴史

1～8 世紀		フーナン王国として国の原型ができる 国力により、領土の拡大・縮小が繰り返される
9～15 世紀 初頭		「カンボジア王国」誕生。アンコール時代 繁栄を極め、大帝国を築き上げる
15～19 世紀 半ば		衰退し始める 東南アジアの新興国ベトナムとタイ（シャム）の両国の従属国となる
1863 年	8 月 11 日	フランスとの保護条約調印
1884 年	6 月 17 日	フランス・カンボジア協約調印 フランスの支配が強化される
1945 年	3 月 9 日	インドシナが日本の管理下になる
1953 年	11 月 9 日	フランスから独立、カンボジア王国誕生 国家元首はシハヌーク国王
1970 年	3 月 17 日	ロン・ノル将軍によるクーデター。 ロン・ノル政権の「クメール共和国」誕生（親米・新南ベトナム）
	3 月 18 日	シハヌーク北京へ亡命、「カンボジア王国民族連合政府」を樹立。 「カンプチア民族統一戦線(FUNK)」を結成。 その一組織として、ポル・ポト率いる「クメール・ルージュ」が参加。
1973 年		アメリカがベトナム戦争の一環として、いわゆる「ホーチミンルート」 遮断を目的にカンボジア攻撃を開始
1975 年	4 月 17 日	クメール・ルージュ、プノンペン入城
1976 年	1 月 5 日	新政権が国名を民主カンプチア（民主カンボジア）と改称 国家元首にシハヌーク（1975 年 9 月に北京より帰国）が就任。
	4 月 11 日	新政権「民主カンプチア」（実質的にポル＝ポト政権）発足
1978 年	12 月 25 日	かつてポル・ポトの配下だったヘン・サムリン率いる「カンプチア民 族救国統一戦線」と共に、ベトナム軍、カンボジアへ侵攻開始。
1979 年	1 月 10 日	ヘン・サムリン政権成立
	9 月 7 日	ポル・ポト政権が代表権を失う
	9 月 21 日	国連総会でポル・ポト政権の代表権を認める
1980 年	10 月 13 日	国連総会でポル・ポト政権追放案、否決
1981 年	3 月 31 日	シハヌークが「独立・中立・平和・協力を守るカンボジアのための民 族統一戦線」(FUNCINPEC)を結成
	6 月 24 日	ヘン・サムリン政権が国名を「カンボジア人民共和国」とする
1982 年	6 月 22 日	シハヌーク、ポル・ポト、ソン・サン(かつてロン・ノル政権で首相を 務めた)の各派が「民主カンプチア連合政府三派」を組織。 政権に対抗。カンボジアは二重政権状態に陥り、勢力同士の対立によ って内戦がさらに続く

1985年	1月14日	ヘン・サムリン政権フン・センが首相就任
1986年	3月17日	四派連合政府樹立など、提案がなされる
1987年	12月3日	シハヌークとフン・セン首相の第1回直接会談
1988年	7月25日	四派の第一回会談
1989年	7月30日	カンボジア和平パリ国際会議
	9月26日	駐留ベトナム軍の撤退完了
1990年	2月	三派連合政府が「カンボジア国民政府」に改称
	6月4日	最高国民評議会(SNC)設置、合意
	12月23日	SNCが和平国連最終文書に合意
1991年	5月1日	四派が「無期限停戦とSNC本部のプノンペン設置」を合意
	10月23日	カンボジア紛争の包括的政治解決に関する協定(パリ和平協定)調印
1992年	2月	国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)発足
	5月9日	武装解除の第一段階、終了
	6月13日	武装解除、第二段階開始。クメール・ルージュは武装解除拒否。
1993年	5月	カンボジア総選挙。 シハヌークの息子ラナリット率いる FUNCINPEC 党と、ヘン・サムリン政権の母体である人民党からなる連立政権が発足。 ラナリット第一首相、人民党フン・センが第二首相「二人首相制」
	9月23日	新憲法公布
	9月24日	シハヌーク国王を国家元首とするカンボジア王国が統一政権となる
1996年	7月	プノンペンで FUNCINPEC 党と人民党の軍隊が衝突
	夏	クメール・ルージュ幹部のイエン・サリ氏投降 (フン・センの工作による)
1997年	6月	カンボジアが国連にボル・ポト派特別法廷開廷に向けて協力を要請
	7月	総選挙で人民党が第一党となりフン・センが首相の座につく
1998年	4月15日	ボル・ポト死亡
1999年	3月	最後まで抵抗していたタ・モク元参謀総長をカンボジア政府軍が拘束
2000年	11月23日	武装した反政府テロ組織「カンボジア自由戦士」(CFF)の数十人が、プノンペン郊外の重要施設を襲撃。同夜中に鎮圧
2001年	8月10日	ボル・ポト派特別法廷設置法成立
2002年	2月8日	カンボジア政府が、国連の協力は国内法で規律されていると主張していることなど理由に、国連、特別法廷設置をめぐる交渉の打ち切り通告
2003年	6月6日	国連とカンボジア政府が、特別法廷を共同設置することで正式合意
	10月4日	特別法廷につき、下院が国連と政府が交わした合意文書の批准を承認
2004年	10月14日	「王室評議会」が招集され、王の実子のシハモニ殿下を全会一致で次期国王に選出。これにより、シハヌーク国王の退位が正式に確定